

事業名 早寝早起き朝ごはん推進事業

趣 旨 早寝早起き朝ごはんを推進し、社会や地域全体で子どもの基本的な生活習慣の形成と家庭教育への啓発を図る。

実施主体 新潟市生涯学習センター

参加対象 市民、児童・生徒、保護者

参加者数 下記のとおり

回 数 31回 **日 数** 38日 **時 間** 110時間

場 所

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月15日～3月31日	おはよう朝ごはん料理講習会	食生活改善推進委員
	内容・方法	<p>[趣旨] 地域コミュニティ協議会と協働で、朝ごはんコンテスト表彰作品を題材にした料理講習会を開催し、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを学ぶ。</p> <p>[内容] 新潟市生涯学習センター、市内小学校・中学校、児童館、コミュニティセンターほか地域コミュニティ協議会と共催する料理講習会に講師を派遣。当日は調理実習と食育に関するミニ講話を行う。</p> <p>[対象] 地域の保護者等</p>	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	5月28日(木) 14:45～15:35 9月17日(木) 13:45～14:35	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [北区] ○早寝早起き朝ごはんミニフォーラム ・内容「葛中生徒のための食事トレーニン講座」 食生活の大切さに関する調理実習付講義 ・対象 葛塚中学校生徒保護者等 ・参加者数 424名	笹川千鶴子(栄養士)
	6月14(土)～15日(日)、20(土)～21日(日) 14:00～7:50	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [中央区] ○早寝早起き朝ごはんミニフォーラム ・内容「お寺でゴ～ン!」 お寺を会場に1泊2日の通学合宿 ・対象 入舟小学校児童(希望者) ・参加者数 74名	
	※事前指導 9月7日(月) 9:30～10:15 10:40～11:25 ※取組み期間 9月14日(月)～18日(金)	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [西区] ○早寝早起き朝ごはんミニフォーラム ・内容「みなみっ子の秋～アウトメディア大作戦」 ゲームやテレビ漬けの生活を見直す取り組みをきっかけに、生活習慣を振り返る ・対象 黒埼南小学校児童	※事前指導 住吉 智子 (新潟大学医学部 保健学科准教授)
	11月25日(水) 10:00～11:30	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業 [北区] ○子育て学習出前講座(地域版) ・内容「簡単・楽しい・おやつごはん」 乳幼児をもつ親を対象とした簡単おやつごはん教室 ・対象 葛塚中学校区内の保護者等 ・参加者数 15名	西田 八千穂(栄養士)

11月21日(土) 4:30～8:00	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業〔中央区〕 ○早寝早起き朝ごはんミニフォーラム ・内容「エッ!!朝から仕事!下町ジョブ・ツアー」 小学校校区内の事業所を見学・地元地域のまち歩き ・対象 入舟小学校区内保育園児、児童および保護者 ・参加者数 11名	渡辺 博(新潟シティガイド)
10月17(土)～18日(日) 18:30～9:00	早寝早起き朝ごはん推進モデル事業〔西区〕 ○子育て学習出前講座(地域版) ・内容「みんなで学校に泊まっちゃお!」 小学校を会場に1泊2日の合宿 ・対象 黒埼南小学校区内の保育園園児、児童、保護者等 ・参加者数 63名	

成 果

- ・ 学校や地域と連携協力して、早寝早起き朝ごはんを推進する事業に取り組むことができた。特に地域の人材との関係づくりができた。
- ・ 子どもたち基本的生活習慣の形成や家庭教育への意識啓発のきっかけとなった。

課 題

- ・ 早寝早起き朝ごはんの推進を一過性の事業としてとらえるのではなく、地域全体で家庭教育を支援する視点に立って、継続的に取り組んでいく環境を構築できるかどうか。

問合せ先

新潟市生涯学習センター学習支援係(担当 皆川 貴行)

事業名 青空ぼうけん塾

趣 旨 様々な体験や活動を通じ、子ども達の健全育成とともに地域との関わりを深めます。
また、親子との交流の場も提供していきます。

実施主体 長岡市山古志支所地域振興課

参加対象 小学4年生～中学2年生及びその保護者

参加者数 14名+保護者（活動内容により保護者参加あり）

回 数 年10回～12回 **日 数** **時 間** 半日～1日

場 所 山古志地域内（活動により他地域でも活動を行う。キャンプ・スキー等）

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	通年	様々な体験や活動を通じ、子ども達の健全育成に取り組む。	食生活改善推進員、長岡市健康・体力づくり指導者等
	内容・方法	キャンプ・ウォーキング・料理教室・コーディネーション教室・スキー教室 等	

成 果

- ・ 子ども達が積極的に行動、発言するようになった。
- ・ 親子で過ごす時間が増えた。

課 題

- ・ より一層保護者や地域の人と一緒に活動する内容にしていきたい。

問合せ先 長岡市山古志支所地域振興課教育支援係（担当：細山） TEL:0258-59-2339

事業名 夏休み★こども造形講座 みてふれて参加しよう！！
親子でかんたんアート体験

趣 旨 親子や友だち同士で、気軽に参加し、作家と一緒にたのしく創作活動に取り組む。出来上がった作品は、美術館に展示する。

実施主体 長岡市栃尾美術館

参加対象 年長児(年長児保護者同伴)以上～

参加者数 458人

回数 10回 **日 数** 16日 **時 間** 2時間

場 所 長岡市美術館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月28日(火)	布に表す星空	長谷部昇(画家)
	内容・方法	簡単なるうけつ染めの応用で、布に星座を表現	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	8月1日(土) 8月2日(日)	流木でアートしよう！	深澤三枝子(造形講座)
	内容・方法	流木をはじめ、枝や木の実、つるなどの天然の形を生かしてオリジナルの立体作品を作る。	
3	期日・時間	テーマ	講師等
	8月8日(土)	鳥や草花の世界	長谷部昇(画家)
内容・方法	鳥や草花の図鑑をもとに、スクラッチボードに表現し、さまざまな型のフレームに入れる。		
回	期日・時間	テーマ	講師等
4	8月9日(日)	木工講座	金川司郎(三条木創舎代表)
	内容・方法	工具の扱いを学びながら、壁掛け時計や簡単な家具など、年齢や技量にあわせたオリジナルの木工作品を作る	
5	期日・時間	テーマ	講師等
	8月15日(土)	ガラス絵を描こう	長谷部昇(画家)
内容・方法	透明アクリル板の裏側から絵の具の重ね方を工夫して描く。		
6	期日・時間	テーマ	講師等
	8月16日(日)	石や木のオブジェをつくろう	長谷部昇(画家)
内容・方法	穴を開けた石や木端の形を生かして繋ぎ、オブジェを作る。		
回	期日・時間	テーマ	講師等
7	8月18日(火)	板画～リトグラフの応用	長谷部昇(画家)
	内容・方法	一種類の原板(彫刻刀で彫った木版)から、いろいろなパターンのカラフルな版画ができてあがる様を楽しむ。	
8	期日・時間	テーマ	講師等
	8月23日(日)	彫金を楽しもう	長谷部昇(画家)
内容・方法	やわらかい銅の箔をへらで押すことで、形や模様を浮き上がらせる。		
9	期日・時間	テーマ	講師等
	8月13日(木)～ 8月23日(日)	「コッパトイでアート」「石に描こう」「マーブリング」	美術館学芸員
	内容・方法	日替わりでかんたんなワークショップを行う。(10時から16時)	

成 果 ・ 今年の造形講座は夏休みに集中的に行い、展示発表も兼ねた告知をミニチラシで行った。結果、広域から初めて当館を訪れる親子の利用があり、新しい層に向けたPRができたと思う。7月末～8月末の25日間で約450人(つきそいのみの大人を除く)の参加者があった。

課 題 ・ 「こども造形講座」として、主に小学生とつきそいの大人を対象としてきたが、内容によっては、大人のみ参加がしやすい、PRの方法を考えたい。

問合せ先 長岡市栃尾美術館 (担当：稲田) TEL：0258-53-6300

事業名 しばたっ子わくわく通学合宿

趣 旨 『食育・礼節・相互理解・郷土理解』を理念とし、長期の合宿という共同生活を通じて規則正しい生活習慣、望ましい食習慣を体験し、新発田の子どもたちの「生きる力」の習得に寄与する。

実施主体 新発田市教育委員会

参加対象 新発田市内対象校の小学校4～6年生

参加者数 計30名

回 数 2回 **日 数** 6泊7日

場 所 新発田市豊浦地区公民館

内 容

回	期日・時間	講師等
1	第1期：6月7日(日)～6月13日(土) 第2期：7月5日(日)～ 7月11日(土)	教育部職員、食事・保健・学生ボランティア、体験活動講師
	内容・方法	6泊7日の日程で、基本的な生活体験（買出し、自炊、洗濯、入浴、清掃等）を1班5～6名編成の班単位で子どもたちが主体的に行う。また、郷土理解、相互理解を深めるために体験活動を行う。また、食育にも力を入れ、食事作法を指導したり、献立作成や郷土料理などによる地産地消を実践している。

成 果

- 生活技能、生活企画能力、共同生活能力の習得
未経験な（不慣れな）事柄に直面することは、技能の習得のほかに新たな課題について考え、解決しようとする企画能力を育む好機となるだけでなく、新たな体験に対する関心→意欲→達成感→自信といった精神面の発達を促したと言える。
- 家庭、家族についての認識を深める
一週間にわたり家族と離れて生活することにより、その存在感やあり方、家族間の関係などについて考え直す機会を与える結果となった。通学合宿の開催は、参加児童及びその家族双方にとっても、間接的にはあるが家庭や家族の絆を深める一助となったと推察できる。

課 題

- 宿泊施設の確保、参加機会の増加、事業の周知・定着、学校や地域との連携体制の確立。

問合せ先 生涯学習課社会教育係 TEL:0254-22-9534

事業名 伝統文化こども教室

趣 旨 華道・茶道・伝承料理などの体験を通して、伝統文化の大切さと心の豊かさを知ってもらう

実施主体 新発田市中央公民館

参加対象 新発田市内の小中学生

参加者数 21名

回 数 10回 **日 数** 10日 **時 間** 16時間

場 所 新発田市生涯学習センター

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月4日(土) 10:00~11:30	はじめてのいけばな	池坊新潟下越支部 支部長 佐藤 秀翠
	内容・方法	いけばなの基本を学び、はじめてのいけばなを行った。 ※毎回学んだことや感想を書き、いけた花と一緒に講師に見てもらおう。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	7月25日(土) 10:00~11:30	季節の花をいける～親子で一緒にいけよう～	池坊新潟下越支部 支部長 佐藤 秀翠
内容・方法	保護者も参加し、子どもと一緒に1つの花器・花材でいけた。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	8月8日(土) 10:00~12:00	伝承料理教室①～新発田のお菓子を教わろう～	社会教育指導員 雨宮 文子
内容・方法	新発田に伝わる、金魚台輪をモチーフにお菓子づくりをした。		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	8月29日(土) 10:00~11:30	季節の花をいける②	池坊 新潟下越支部 支部長 佐藤 秀翠
内容・方法	夏らしい鮮やかな花をいけた。		
5	期日・時間	テーマ	講師等
	9月19日(土) 10:00~11:30	茶道体験教室 ～お菓子のいただきかたを学ぼう～	石州流 河原 民子
内容・方法	茶道の基本の挨拶やお菓子のいただきかた、お茶の立て方を学んだ。		
6	期日・時間	テーマ	講師等
	10月15日(木) 17:00~18:30	新発田市の美術展覧会に出品しよう!	池坊新潟下越支部 支部長 佐藤 秀翠
内容・方法	展覧会の前日に花をいけて出品し、今までの学習の成果をたくさんの人にみてもらった。		
7	期日・時間	テーマ	講師等
	11月7日(土) 10:00~11:30	施設にお花を届けよう	池坊新潟下越支部 支部長 佐藤 秀翠
内容・方法	市内の老人施設へ行き、そこでいけた花を利用者に贈った。		

8	期日・時間	テーマ	講師等
	12月19日（土） 10：00～12：00	伝承料理教室② ～新発田の料理を教わろう！～	社会教育指導員 雨宮 文子
	内容・方法	新発田の食材を使った料理とお菓子づくりをし、地産地消も学んだ。	
9	期日・時間	テーマ	講師等
	1月9日（土） 10：00～11：30	季節の花をいける③	池坊新潟下越支部 支部長 佐藤 秀翠
	内容・方法	今まで学んできたことを思い出し、花のバランスや色合いを考えながら、自分の好きなようにいけた。	
10	期日・時間	テーマ	講師等
	1月30日（土） 10：00～12：00	お花と一緒にパーティーをしよう	池坊新潟下越支部 支部長 佐藤 秀翠
	内容・方法	いけた花を飾り、花をみながらお楽しみ会を行う。	

成 果 ・ 子どもたちが記入する、学習ノートからも「またやりたい」「次の教室もたのしみ」などの感想が記入されており、伝統文化に興味を持ちながら教室に参加している。
また、何年も通して参加している子も多く見受けられ、伝統文化の伝承に一役かうことができた。

課 題 ・ 内容的に男の子が参加しにくいこともあり、参加者は女の子のみであった。

問合せ先 新発田市中央公民館（担当：神田） TEL:0254 - 22 - 8516

事業名 村上市山北緑の少年団活動**趣旨** 自然を愛し、これを育てるため互いに協力し、社会に役立つ自主的な活動を行う。**実施主体** 村上市山北緑の少年団**参加対象** 山北地区小学生4～6年生**参加者数** 27名**回数** 7回 **日数** 8日 **時間** 6～7時間**場所** さんぼく会館ほか**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月31日(金)～ 8月1日(土) 8:30～13:30	夏の自然満喫、団体行動でレッツ・チャレンジ・キャンプ	少年団指導員、中継集落ほか
	内容 ・ 方法	中継ふるさとふれあいセンターをメイン会場に、流しソーメンの竹を切出し、加工。午後はカジカ捕り、火起しから夕食カレーづくり、夜は花火と肝試しで1日目終了。 2日目はラジオ体操からミニゲーム、朝食後集落内名所巡り散策、流しソーメン準備から昼食で解散。	
2	10月3日(土) 9:00～15:00	秋の野外教室(芭蕉が歩いた出羽街道大沢峠ウォーク)	街道案内人、大沢集落、少年団指導員
	内容 ・ 方法	出発点の明新岩までバスで移動。地元案内人2名により石畳の残る旧出羽街道大沢峠の伝説を聞きながらウィーキング。軒先のある大沢集落センターで昼食、地元のお母さん方にナメコ汁・漬物などを提供してもらい。午後は、春に種駒を入れたしいたけホダ木を山林へ積み込み作業をして解散。	
3	12月13日(日) 9:00～15:00	冬のものづくり(保安林標識の図画作成&勝木川の鮭を勉強しよう)	交流の館「八幡」、勝木川鮭鱒増殖部会、村上水産駐在、少年団指導員
	内容 ・ 方法	新潟県村上地域振興局農林振興部から依頼があった保安林標識用の図画作成。午後は、村上水産駐在から鮭の基礎知識について講義後、勝木川の鮭一括捕場での漁を見学、捕れた鮭の採卵並びに塩引鮭づくり体験を行った。 ※後日、体験した塩引鮭数本を人数分切身にして団員に配布。	

成果

- ・ 村上市山北地区の自然や文化、生業をメインに普段の自宅や学校ではなかなか勉強できない知識や体験ができたと思う。子どもたちにも最初は戸惑いながらも後半では率先して活動する様子も多く見られた。講師も地元の方々に多大なご協力をいただきご迷惑もおかけしたところであるが、我が地区の緑の少年団員ということもあり、逆に喜んでご指導いただいた方がほとんどであった。

課題

- ・ 年間数回の活動で海山川の資源豊富な山北地区の全てを学ぶことは不可能であるが、リピーターで参加する児童も多く、3～4年計画で基本プログラムの構築、改良を図る必要がある。

問合せ先 村上市教育委員会山北事務所教育課(担当:小田和弘) TEL:0254-77-3798

事業名 がんばるお父さんと子どもの講座「お父さんと一緒に楽しくあそぼう」

趣 旨 父親の育児や家庭教育への参加を促し、父親と子どものコミュニケーションを深める

実施主体 村上地区公民館

参加対象 小学生と父親

参加者数 15組（30名）

回 数 3回 **日 数** 3日 **時 間** 14時間

場 所 高根、胎内市、教育情報センター

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月20日(土) 9:30~14:30	森で秘密基地をつくろう ～自然の中で楽しく遊ぶ～	高根フロンティアクラブ
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・森の中で3グループに分かれ、親子協力して木や枝、葉を使い基地をつくる。 ・池でイモリやトンボ、他の水生生物を捕ったり、観察したりする。 	
2	8月2日(日) 14:00~21:00	ミニキャンプと星空観察 ～カレー作りと夏の星座を見る～	胎内自然天文館 鈴木 克
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・胎内平キャンプ場で飯盒炊飯。 ・胎内自然天文館で星座の観察。 	
3	9月12日(土) 9:30~11:30	科学のふしぎ ～おもちゃを作る～	理科センター 鈴木 淳
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・村上市教育情報センターの生徒指導のもとで、おもちゃ作り、科学の不思議を体験する。 ・紙コップカムバック、ポンプロケット、くるくるメリーゴーランドを作成。 	

成 果

- ・ 参加者の「とても楽しく親子で有意義な時間を過ごした」「物を作る楽しみを味わえてよかった」「普段できない体験をすることができてよかった」等の感想から、親子（父と子）の体験の場を作る重要性を感じることができた。

課 題

- ・ 各学校行事との日程調整。
- ・ マンネリ化しないように毎年内容を変えているが、そのためには十分な予算の確保が必要である。

問合せ先 村上市教育委員会村上事務所教育課（担当：菊池 隆）TEL：0254-53-2446

事業名 親子チャレンジ講座

趣 旨 子どもと一緒に楽しみ、喜び、感動できる豊かな時間を積み重ねることで、子どもを理解するとともに親子の絆を深めてもらう。

実施主体 荒川地区公民館

参加対象 地区内の小学生及びその保護者

参加者数 延69名

回 数 3回 **日 数** 3日 **時 間** 12時間

場 所 荒川地区公民館ほか

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月13日(土) 9:00~13:00	笹だんご・ちまきづくり教室 ～伝えたい!残したい!「ふるさとの味」～	農村地域生活アドバイザー 川村・時田・遠山
	内容・方法	・笹だんご、ちまきの作り方(だんごの作り方、笹の包み方)を体験した。	
2	1月30日(土) 9:00~13:00	そば打ち体験教室	一般市民 加藤・高橋・野澤
	内容・方法	・親子で各自が食べるそばを、「粉をこねる、伸ばす、たたむ、切る、茹でる」までの一連の作業を体験した。	
3	3月6日(土) 9:00~13:00	郷土料理教室 ～伝えたい!残したい!「ふるさとの味」～	一般市民 宮坂・渡辺
	内容・方法	・地元で伝わる郷土料理(3品)の調理方法について学んだ。	

成 果

- ・親子で一つのことを成し遂げる喜びを体感できた。
- ・地域に残る大切な文化(食文化)を知ってもらうことができた。

課 題

- ・参加者のほとんどの親が母と子の組みあわせで、父親の参加が少なかった。父親が参加しやすい内容の検討が必要である。

問合せ先 村上市教育委員会荒川事務所教育課(担当:小川良和) TEL:0254-62-3050

事業名 あさひウィークエンドスクール**趣 旨** 現在不足している年齢が異なる子どもどうしのコミュニケーション能力の向上を図る。
また、子どもの居場所づくりを目的に実施。**実施主体** 村上市青少年育成朝日地区市民会議、総合型スポーツクラブ準備委員会**参加対象** 小学生とその保護者**参加者数** 延120名**回 数** 5回 **日 数** 5日 **時 間** 23時間**場 所** 総合文化会館、長津研修センター等**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月27日(土) 9:00~12:00	大学生のお兄さん!お姉さん!と一緒に遊ぼう!!	新潟医療福祉大学生 市民会議運営委員 体育指導員
	内容・方法	朝日体育館を会場に、子どもたちが、身近にある物を使っていろいろな遊び方を新潟医療福祉大学の学生達と一緒に体験した。	
2	8月1日(土) 9:00~15:00	暑さに負けずたのしもう!!	新潟医療福祉大学生 市民会議運営委員 体育指導員
	内容・方法	長津研修センターを会場に、野外で大学生によるアイスブレイク・レクリエーションを行い、川ではカジカ捕りをしての川遊び体験を行った。昼食は、親子とスタッフ全員で流しそうめん楽しく昼食をとった。	
3	10月17日(土) 9:00~14:00	ヒ・ミ・ツ基地づくりを家族で体験しよう!!	高根フロンティアクラブ 市民会議運営委員
	内容・方法	高根地区(癒すのビオトープ)を会場に、森林内で作る基地のイメージ図を各チームで作成し、各班で場所を決め、木と木をロープでつなぎ森林内の雑木の枝をあつめロープにかけて基地をつくる。思い思いにロープを自由に使いブランコを作ったりして皆で遊ぶ。 昼食後、指定の植物を時間内に各チームで探すゲームを行って遊ぶ。	

成 果 ・ 様々な子ども同士が、遊びを通して協力して活動を行うことが出来た。**課 題** ・ 保護者も原則参加なのだが、親子での参加が少なく、今後どのように親を活動に参加させるかが課題。
・ 運営協力者の確保を今後どのようにしていくかが課題。**問合せ先** 村上市教育委員会教育部生涯学習課 (担当:高橋雄大) TEL:0254-72-6881

事業名 「謙信KIDSスクールプロジェクト～海と山と大地の楽校～」

趣 旨 14市町村が合併し、多様となった自然、歴史、文化など豊富な地域資源を活用した様々な体験活動を入口に、子どもたちの好奇心や知的探求心を刺激し、心豊かでたくましい子どもたちを育成する。

実施主体 上越市教育委員会生涯学習推進課及び各区教育・文化グループ

参加対象 小・中・高校生（楽校によって異なる）

参加者数 計576人（楽校ごとに定員を設定）

回数・日数 各楽校3～15回（延べ137回） **時 間** 1回あたり3時間～1泊2日

場 所 市内全域（楽校によって異なる）

内 容 （期日は通年。楽校によって異なる）

楽校名	参加者	内容・方法	講師等
森の楽校 (2コース)	小学生計49人	森のハイキング、キャンプ、ブナの植樹など	地元トレイルガイド
木の楽校 (2コース)	小学1～3年生計40人	自然の素材を使った木工工作など	NPO法人 木と遊ぶ研究所
川の楽校	小学4～6年生15人	川の探検、鮭のつかみ取り・稚魚の放流など	名立川鮭漁業生産組合 海洋高校教諭ほか
郷の楽校	小学1～3年生25人	市内各地域で行われている様々な特色ある活動	地域住民
毘の楽校	小学4～6年生21人	上杉謙信の学習、春日山探検、支城巡りなど	市職員 地元活動団体
レルヒの楽校	小学3～6年生14人	日本スキー発祥の歴史やレルヒ少佐の学習、一本杖スキー体験など	レルヒの会ほか
星の楽校	小学4～中学生25人	天体の学習、星座観察、望遠鏡作りなど（宿泊）	上越清里星のふるさと館職員ほか
雪の楽校	小学3～6年生19人	雪の学習、雪の実験、雪遊びなど	上越科学館職員ほか
発酵の楽校	小学4～6年生25人	坂口謹一郎や発酵の学習、パン・味噌などの発酵食品作り	中学校教諭、NPO法人くびき来夢ネット他
海の楽校	小学4～6年生25人	実習船での体験航海、漁師体験、港の見学など	地域住民、海洋高校教諭ほか
魚の楽校	小学4～中学生25人	水生生物観察、水族館ナイトツアー、ほか市の水族館訪問など	上越市立水族博物館職員
縄文の楽校	小学3～中学生24人	まが玉・土器・石器作り、ニジマスつかみ取り体験など	専門家、市学芸員ほか
空の楽校	小学4～中学生9人	パラグライダー体験など	尾上岳パラグライダースクールほか
美の楽校	小学1～4年生25人	オリジナルのぼり旗作り、パン作り、教室まるごとペイントなど	ContinueArtProject実行委員会

メロディの楽校	小学1～3年生28人	クラシック体験、合唱、ミニコンサートなど	地元音楽サークルほか
雅楽の楽校	小学3～中学生15人	雅楽の演奏、合奏	月影雅楽保存会
古径の楽校	小学3～中学生12人	小林古径の学習、作品鑑賞、日本画制作	上越教育大学准教授
陶芸の楽校	小学4～中学生27人	陶芸の学習、作品作り、お茶会など	妙高焼高井陶房
そばの楽校	小学3～5年生23人	上越特産のそば「とよむすめ」の栽培、そば打ち体験など	上越そば研究会ほか
緑の楽校	小学4～6年生24人	畑作体験、かかし作り、収穫祭など	地元農事組合ほか
くびき野 食の楽校	小学4～6年生20人	郷土料理作り	食育ボランティア
巧の楽校 (2コース)	小学4～6年生計39人	オリジナル発明工作、作品発表会など	専門家

※この他に、宿泊を伴わない「星の楽校」(日帰り1回開催)を実施。(小学1～3年生42人参加)

成 果

- ・ 昨年度に引き続き、今年度も原則1人1校のみの参加としたが、定員割れの楽校に限り2校目の参加も可としたため、全体の定員充足率が97%(昨年度は93%)と高くなった。
- ・ 中高生の参加は今年度も少なかったものの、ボランティアに特化して募集したところ、4名の中学生が参加し、小学生を先導してくれた。
- ・ 大学生ボランティアも、単に子どもたちの見守りだけでなく、企画段階から参画し、内容の充実を図ることができた。
- ・ 社会教育法の改正で、社会教育事業の評価とそれに基づく改善の必要性が求められている中、社会教育委員や公民館運営審議会委員から当事業に関しても「第三者評価」として事業に参加していただく機会を設けた。また、上越教育事務所からも視察・評価を受けるなど、担当者だけでは気づかなかった問題点を指摘していただくことで、以後の事業改善につなげることができた。

課 題

- ・ 事業開始から4年目を迎え、各楽校の内容にも工夫が見られるものの、社会教育委員等からの評価を活かし、プログラムの改善に努め、より多くの子どもたちから参加してもらえるよう努める。
- ・ 低学年の応募が多い反面、受け皿となる楽校が少ない。予算、人員に限られた状況の中、工夫して事業を企画、運営する必要がある。
- ・ 特殊学級に通う子どもの参加もあり、研修等を通して、職員一人一人がそれぞれの状況に対応できるようにする必要がある。

問合せ先

上越市教育委員会 生涯学習推進課 社会教育係 TEL：025-545-9245

事業名 公民館キッズフェスタ**趣 旨** さまざまな体験学習を提供し、子どもたちの健全育成に寄与する。**実施主体** 上越市立公民館**参加対象** 小学生**参加者数** 574名**回 数** 1回 **日 数** 1日間 **時 間** 7時間**場 所** 高田地区公民館及び女性サポートセンター**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成21年8月18日(火)	体験活動を通じた、学習や遊び及び交流を行う	公民館職員、公民館利用団体
	内容・方法	高田地区公民館等を会場に、利用団体を講師に、さまざまな体験学習や交流を行う。 主な体験の内容は、七宝焼き、トールペイント、生け花、クレープづくりや琴、茶道を通じた体験活動である。 また、館内ウォークラリーや卓球、囲碁・将棋・オセロなど遊びのひろばを設け、活動の輪を広げる。	

成 果 ・ 公民館を一日開放し、小学生の体験活動に大いに役立った。また、利用団体自身の活性化や、公民館の役割、PR等に繋がった。**課 題** ・ 利用団体の中からの、新たな講師等の開拓を図りたい。**問合せ先** 上越市立公民館 事業係 (電話025-524-3106)

事業名 中学生リーダー育成「初級ジュニアリーダー養成講座」

目的 小中学生を対象にする集団活動のグループリーダーを養成する。活動の大まかな流れを把握したうえで率先して行動をするとともに、指導者とグループの引き合わせ役となる中学生の育成。

実施主体 南魚沼市教育委員会 社会教育課

参加対象 市内中学生

参加者数 延べ 40名

回数 4回

日数 4日

時間 22時間

場所 南魚沼市塩沢公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月6日(土) 9:00~12:00	○ジュニアリーダーとは ○レクリエーション活動	新潟県子ども会連絡協議会 反町幸男 新潟県レクリエーション協会 小林秀夫
	内容・方法	○ 第一講義は、2人1組になったの実習、班ごとの話し合いと発表、そして振り返りによる評価等を行い、ジュニアリーダーに必要な基礎知識と心構えを中心に学ぶ。 ○ 第二講義は、長岡市ジュニアリーダーズクラブを招き、既にリーダーとして活動している皆さんと一緒にレクリエーションを体験しながらプログラムの組み立てなどを理解する。	
2	7月4日(土) 9:00~17:00	○話し合いの進め方 ○カレー調理実習 ○キャンプのイロハ・野外活動にあたって	新潟県キャンプ協会 今井和彦
	内容・方法	○ 第一講義では、グループで話し合いをする時のルールとリーダーの役割等を学ぶ。 ○ 第二講義は、グループごとに分かれ、決められた金額と条件のなかでどんな工夫でカレーを作るのが良いのか話し合いの実践をして、協力しながら調理を行う。 ○ 第三講義は、リーダーの重要性が表れる活動の1つであるキャンプの基礎知識と安全意識を高めることと、キャンプ以外の野外活動時の留意点等を理解する。	
3	8月26日(水) 9:00~17:00	○危険予知と応急処置 ○フォトオリエンテーリング	日本赤十字社新潟県支部 関口康子 南魚沼市塩沢公民館 職員
	内容・方法	○ 第一講義は、安全な集団活動のための危険予知と事故時の応急処置など救急法の基礎知識、事故状況報告の手順と方法を学ぶ。 ○ 第二講義では、今までの講義内容を活かしながら湯沢町に設置された課題をグループごとに解決するフォトオリエンテーリングを実施した。	
4	9月19日(土) 9:00~12:00	○講座受講のまとめ ○キャンドルセレモニー	南魚沼市塩沢公民館 松田亜木 新潟県レクリエーション協会 風間昌平
	内容・方法	○ 第一講義は、振り返りの大切さと方法、講座で学んだことをまとめ上げて悪かったところと良かったところを共有して今後の活動など意見交換を行った。 ○ 最終講義は、さよならの集いとしてキャンドルセレモニーと活動に向かっの気持ちを皆に伝えて再会の約束をした。	

成果 ・ 当初は、参加対象が中学生なので事業効果が明確に表れるかどうか心配した面もありましたが、リーダーに相応しい協調性を備えた受講者に出会うことができました。今後は、リーダーとして活躍する機会を多く提供していきたいと考えます。

課題 ・ 講義内容によって別々の講師で講座を進めて来ましたが、中学生との友好的信頼関係築くには専任の講師の方が良いのではないかと感じます。また、事業に係わる職員の「統一した事業のねらい」の共有が重要です。

問合せ先 南魚沼市教育委員会 社会教育課塩沢社会教育係 (担当: 上村栄二)

〒949-6408 南魚沼市塩沢608-1 TEL: 025-782-0100

事業名 田上町（田上小学区）地域安全マップづくり講習会
～ キーワードは「入りやすく、見えにくい場所」を知る ～

趣旨 一昨年は『指導者育成のための講習会』、昨年度は町内の2つの小学校のうちの1つの小学校で講習会を開催。3年目の今年はまだひとつの小学校である田上小学校区の高学年を対象に、犯罪が起こりやすい場所（危険）とはどのようなところなのか、どのような場所が安全なのかを“まち歩きによる「安全マップ」の作製”を通じて認識すると同時に、指導者及び関係者が子どもたちを巡る環境をどのように確立していけばいいのかを学ぶ機会とする。

実施主体 田上町教育委員会・田上小学校・同学校PTA・同学校区防犯連絡協議会

参加対象 田上小学校5・6年生、地域の安心安全隊のみなさん、学校関係者、PTA 等

参加者数 児童約40名 指導者・防犯連絡協議会員ほか 10名

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 4時間

場所 田上小学校 他

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月29日（土） 8：20～12：30	「田上町（田上小学区）地域安全マップづくり講習会」 ～ キーワードは「入りやすく見えにくい場所」を知る ～	教育委員会職員
	内容・方法	<p>小学校5・6年生を6班にわけて、“地域安全マップとは何か、なぜマップづくりが防犯に有効なのか”説明を行った。（約30分）</p> <p>その後、6ルートにわかれて『まち歩き』を実施。（1時間30分程度） （ポラロイドカメラによる危険箇所・安全箇所等の写真撮影、なぜそれらが危険（安全）なのか、子どもたちの考えを聞いたりしながら、まち歩きを行った。）</p> <p>マップづくりは、班の指導者と子どもたちが共同で作製し、6班を2つのグループに分けて発表を行い、その後教育委員会職員による総括を行った。</p>	

成果

- ・ 日頃子どもたちが何気なく歩いている道路にも危険が潜んでいることを認識してもらうために、最初の説明では簡易なパネルなどを使用し、比較的わかりやすい事例による説明を行い、その後、“どのような場所が具体的に危険なのか、どうして危険なのか”、理由も含めて子どもたちから考えてもらいながら、『まち歩き』を行い、子どもたちの防犯に対する意識が高まった。
また、危険に対する回避（その道はできるだけ通らない）は無論必要だが、どうしてもその道を通らなければならない場合の対処法などを総括時において説明を行い、子どもたちも熱心に聞いていた。
- ・ 今回の講習会は、今年で3年続けて開催しており、少しずつではあるが、防犯に対する認識が深まってきている。また、地域の安心安全隊の皆さんからも参加いただき、危険である箇所の認識（要因含む）を深められ、地域・学校・行政の連携が図れたと思う。

課題

- ・ 今後は、それぞれの地域において地域・学校PTAが定期的に『地域安全マップ』作製を通じ、防犯意識の向上及び危険を回避する能力を養う必要があり、継続性が求められる。（低学年への指導・わかりやすい説明も今後必要と思われる。）
- ・ 防犯は、行政・地域・学校など非常に身近な問題であり、今以上に連携を図る必要がある。

問合せ先 田上町教育委員会 生涯学習係（担当：佐藤 正） TEL0256-57-6114

事業名 家庭教育講座 「エンジョイダディ講座」**趣 旨** 家庭教育の中での父親の役割を学ぶ。父親同士の仲間作り**実施主体** 津南町教育委員会**参加対象** 町内の乳幼児から小学校2年生までの子の父親または祖父**参加者数** 20人**回 数** 3回 **日 数** 3日 **時 間****場 所** 津南町文化センター**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月27日(火) 午後8時～	「家庭教育における父親の役割 ～子どもとの関わり①」	こぼと保育園 園長 吉野美智子
	内容・ 方法	保育園の現場から、現状の問題を提起した上で、望ましい子どもと父親の関わり方についての講義。	
2	11月11日(水) 午後8時～	「家庭教育における父親の役割 ～子どもとの関わり②」	津南小学校 校長 桑原 正
	内容・ 方法	学校の現場から、現状の問題を提起した上で、望ましい子どもと父親の関わり方についての講義。	
3	12月2日(水) 午後8時～	「魅力あるお父さんになろう～！！」	お父さんの先輩3名
	内容・ 方法	参加者のお子さんと同じ男女比のお子さんを持つ(二人の娘・一人娘・二人の息子)お父さんとしての先輩(30代1名・40代1名・50代1名)においていただき、悩んだこと、気をつけたこと、気づいたこと等々のお話を聞いたり、質問をしたりした。	

成 果

- ・ 初めのお父さんの講座であったが、参加者からは「有意義な時間だった」という感想をもらった。
- ・ 開始時間を夜8時からにしたことにより、参加しやすい状態だった。

課 題

- ・ お父さん方の本音がなかなか出てこず、質問が出て来る頃には終了時間ということになり、進行役の進め方に再考の余地有。

問合せ先 津南町教育委員会生涯学習班 (担当：根津サヨ子) TEL：025-765-3134

事業名 かりわっ子クラブ活動事業

目的 夏休み期間中、各地区集会場等を利用して仲間づくりや体験活動、スポーツを楽しみながら豊かな心を養う。

実施主体 刈羽村教育委員会

参加対象 刈羽小学校の児童（1年生～3年生）の希望者

参加者数 115名

回数 7回 **日数** 7月28日～8月21日の期間 **時間** 半日（午前）

場所 各地区集会場及びひだまりの里

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月28日～ 8月21日 (7回) 半日（午前）	・自分から進んで学ぶ心を育てる。 ・心豊かで、たくましい子どもを育てる。 ・みんなで協力して目標に向かって努力する力を育てる。	・地区コミュニティーアドバイザー ・社会教育指導員 ・教育委員会職員
	内容・方法	夏休み期間中、7回コースとして、体育館でスポーツをし休み期間中の運動不足を解消したり、コミュニティーアドバイザー指導の下、アイロンビーズを使ったコースター作り、割り箸鉄砲など、普段なかなか出来ない体験活動を行った。 また、本年度より屋外体験活動として、茅葺きの家に訪問した。	

成果 ・ 屋外体験活動では、「古民家」に興味を持ってくれたり、自然の中で普段は感動もないような草や虫に興味を示していたり、お昼食べた、塩のみ「はさ掛けコシヒカリ」のおにぎりの美味しさに感動したり、いろいろな体験ができました。

課題 ・ 多くの児童から参加してもらっていますが、保護者からの参加申込みについて期限を守らない人が多く、ギリギリまで内容、スケジュール等を決められない。

問合せ先 刈羽村教育委員会（担当：猪俣・室星） TEL 0257-45-3933